

2 なたね

(1) 国際的ななたね需給の概要（詳細は右表を参照）

<米国農務省(USDA)の見通し>

【生産量】 2016/17年度 前年度比 ↓ 前月比 ↑

生産量は、インド等で増加するものの、中国、EU、カナダ等で減少が見込まれることから、世界全体では前年度を下回り66.5百万トンとなる見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、世界全体で上方修正され、国別には、カナダで上方修正、EUで下方修正、米国でわずかに下方修正された。

【消費量】 2016/17年度 前年度比 ↓ 前月比 ↑

消費量は、インド等で増加するものの、中国、EU、カナダで減少が見込まれることから、世界全体では前年度を下回り67.6百万トンとなる見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、世界全体で上方修正され、国別には、米国でわずかに上方修正、EUで下方修正、インドでわずかに下方修正された。

【貿易量】 2016/17年度 前年度比 ↓ 前月比 ↑

世界全体の貿易量は、前年度より減少し、12.9百万トンとなる見込み。

国別には、輸出国では、豪州、ロシアで増加し、カナダ、ウクライナ、EU等で減少する見込み。輸入国では、EU、中国等で減少する見込み。

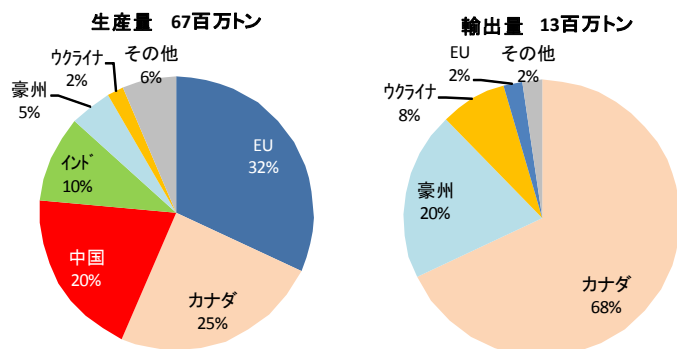
なお、前月からの予測の改訂は、世界全体で上方修正され、輸出国では、カナダで上方修正、豪州でわずかに上方修正、輸入国では、EU、パキスタンで上方修正、アラブ首長国連邦で下方修正された。

【期末在庫量】 2016/17年度 前年度比 ↓ 前月比 ↑

期末在庫量は、前年度より減少し、世界全体で3.7百万トンとなる見込み。国別には、インドで在庫が積み増しされるものの、EU、カナダ、中国等で取り崩される見込み。期末在庫率は5.4%と前年度より低下する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、世界全体で上方修正され、国別には、豪州等で上方修正、カナダ等で下方修正された。

図－1 世界のなたねのシェア(2016/17年度)



表－1 世界のなたね需給（米国農務省）

(単位:百万トン)

年度	2014/15	2015/16 (見込み)	2016/17		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	71.5	68.2	66.5	0.4	▲ 2.4
EU	24.6	22.0	21.2	▲ 0.6	▲ 3.8
カナダ	16.4	17.2	16.4	0.9	▲ 4.7
中国	14.8	14.3	13.3	-	▲ 7.0
インド	5.1	5.9	6.8	-	15.6
豪州	3.5	3.0	3.3	-	10.2
ウクライナ	2.2	1.7	1.3	-	▲ 25.5
米国	1.1	1.3	1.3	▲ 0.0	▲ 4.1
消費量	71.0	70.1	67.6	0.1	▲ 3.6
うち搾油用	67.6	67.1	64.8	0.2	▲ 3.4
EU	26.3	25.2	23.9	▲ 0.1	▲ 5.2
中国	18.9	19.0	17.4	-	▲ 8.4
カナダ	8.0	8.6	8.1	-	▲ 6.1
インド	5.2	6.0	6.7	▲ 0.0	12.6
日本	2.5	2.5	2.5	-	-
米国	1.8	1.5	1.5	0.0	4.2
メキシコ	1.5	1.5	1.5	-	-
貿易量	15.1	14.4	12.9	0.3	▲ 10.0
(輸出)					
カナダ	9.2	10.0	8.8	0.3	▲ 12.0
豪州	2.8	2.3	2.6	0.0	10.9
ウクライナ	2.0	1.4	1.0	-	▲ 30.1
EU	0.6	0.4	0.3	-	▲ 14.3
米国	0.2	0.1	0.1	-	▲ 23.6
ロシア	0.1	0.0	0.1	-	42.9
(輸入)					
中国	4.6	4.3	3.8	-	▲ 10.6
EU	2.3	3.3	2.5	0.2	▲ 24.2
日本	2.5	2.5	2.5	-	-
メキシコ	1.6	1.5	1.5	-	-
アラブ首長国連邦	0.8	0.6	0.6	▲ 0.1	▲ 4.0
パキスタン	0.9	0.9	0.8	0.2	▲ 5.9
米国	0.8	0.4	0.3	-	▲ 4.8
期末在庫量	7.1	4.9	3.7	0.1	▲ 25.1
カナダ	2.3	1.1	0.7	▲ 0.1	▲ 33.3
EU	1.9	1.7	1.2	▲ 0.0	▲ 29.7
中国	1.5	1.0	0.7	0.0	▲ 28.6
インド	0.3	0.2	0.3	-	47.4
豪州	0.5	0.3	0.2	0.1	▲ 24.5
日本	0.1	0.1	0.1	-	▲ 2.0
アルゼンチン	0.1	0.1	0.1	-	▲ 10.6
期末在庫率	9.9%	7.0%	5.4%	0.2	▲ 1.6

資料：USDA「PS&D」,「Oilseeds : World Markets and Trade」(12 July 2016)

(2) なたねの主要生産・輸出国等の需給状況

ア カナダ

【需給状況】(詳細は右表を参照)

<米国農務省の見通し>

生産量は、収穫面積が減少し、単収も低下することから、前年度より減少し、16.4百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度より減少し、8.1百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度より減少し、8.8百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より減少し、期末在庫率も4.2%に低下する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、2015/16年度の輸出量で上方修正、期末在庫量で下方修正、2016/17年度の生産量、輸出量で上方修正された。結果として、期末在庫量が下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

カナダ農務農産食品省(AAFC)「Outlook for principal field crops」(2016.6.17)によれば、2016/17年度のなたねの播種面積は7.8百万ヘクタールと、前年度(8.1百万ヘクタール)を3.7%下回る見込み。これは、なたねの収益性は高いものの、近年の病害虫被害に伴う投入コストの増加により、他の作物と比べ、純利益が圧縮されつつあることが要因と見られている。なたねの播種作業は、カナダ西部で例年より1~2週間早く終了した。マニトバ州、サスカチュワン州、アルバータ州の土壤水分量は平年より潤沢であり、作柄も総じて良好となっている。

州別の作物報告によれば、アルバータ州では昨年と同様、今年も平年より早い雪解けを迎え例年より早く播種作業が開始され、2016年6月上旬までにはほぼ終了した。その後は、温暖湿潤型の天候に恵まれ作物は順調に生長、7月12日現在の作柄は良/やや良が82.4%となっている。土壤水分量は良/やや良が82%と総じて良好だが、一部で降雹や水分過多による影響を受けている地域がある。サスカチュワン州でも概ね温暖で乾燥した天候に恵まれ、播種作業は平年を上回るペースで進展し5月末までにはほぼ終了した。7月11日現在、作柄は良/やや良が大半を占めているものの、一部で降雨過多により洪水の被害が発生した地域もある。マニトバ州では、冷涼湿潤型の天候により播種作業が遅れが生じたが、6月中旬までにはほぼ終了した。7月18日現在、一部で雷雨に見舞われ冠水した地域もあったが、大部分で天候に恵まれ作柄は良好。作物は開花期から着莢期に入った。

【貿易情報】

カナダ農務農産食品省(AAFC)「Outlook for principal field crops」(2016.6.17)によれば、2015/16年度の輸出量は10.0百万トンと、2014/15年度(9.2百万トン)を9.2%上回り史上最高となる見込み。これは、国内に潤沢な供給能力があること、また、世界の油糧種子の需要増に伴い、なたね油の価格が維持されていることによる。

我が国の輸入先国シェア 1位 (2015年数量ベース 87.6%)
世界の生産量シェア 2位 (2016/17年度 24.7%)
輸出量シェア 1位 (2016/17年度 68.0%)

表-2 カナダのなたね需給(市場年度:8月~翌年7月)

(単位:百万トン)

年 度	2014/15	2015/16 (見込み)	2016/17		
			予測値、()はAAFC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	16.4	17.2	16.4 (15.4)	0.9	▲ 4.7
消費量	8.0	8.6	8.1 (8.2)	-	▲ 6.1
うち搾油用	7.4	8.1	8.0 (…)	-	▲ 1.2
輸出量	9.2	10.0	8.8 (8.0)	0.3	▲ 12.0
輸入量	0.1	0.1	0.1 (0.1)	-	-
期末在庫量	2.3	1.1	0.7 (0.7)	▲ 0.1	▲ 33.3
期末在庫率	13.5%	5.7%	4.2% (4.3%)	▲ 0.4	▲ 1.5

(参考)

収穫面積(百万ha)	8.34	8.10	8.00 (7.77)	0.25	▲ 1.2
単収(t/ha)	1.97	2.12	2.05 (1.98)	0.05	▲ 3.3

資料: USDA 「PS&D」、 「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」 (12 July 2016)
AAFC 「Outlook for Principal Field Crops」 (17 June 2016)

写真 カナダ・アルバータ州 (2016年6月30日撮影)
—豊作が期待されるなたね畑—



写真提供: Gerry Good 氏

イ 豪州

【需給状況】（詳細は右表を参照）

<米国農務省の見通し>

生産量は、前年度より増加し、3.3百万トンとなる見込み。

消費量は、ほぼ前年度並みの0.8百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度より増加し、2.6百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より減少し、期末在庫率も7.3%に低下する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、2014/15年度の生産量、期末在庫量で上方修正、2015/16年度の期末在庫量で上方修正、輸出量で下方修正、2016/17年度の消費量、輸出量でわずかに上方修正された。結果として期末在庫量が上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

国際穀物理事会(IGC)「Grain Market Report」(2016.7.1)によれば、2016/17年度の世界生産量は3.2百万トンと、播種面積の拡大により前年度(2.9百万トン)を10.0%上回る見込み。しかしながら、ニューサウスウェールズ州及びビクトリア州では土壌水分不足と競合作物である豆類の価格が高いことから播種面積の増加が制限される見込み。現地調査会社によれば、なたねの播種作業は、西オーストラリア州で2016年3月上旬に、その他の州では4月から開始され、5月末までにはほぼ終了した。

ウ ウクライナ

【需給状況】（詳細は右表を参照）

<米国農務省の見通し>

生産量は、前年度より減少し、1.3百万トンとなる見込み。

消費量は、ほぼ前年度並みの0.3百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度より減少し、1.0百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、ほぼ前年度並み、期末在庫率は0.3%に上昇する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、2015/16年度の輸出量で上方修正、消費量、期末在庫量で下方修正された。結果として2016/17年度の期末在庫量がわずかに下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

国際穀物理事会(IGC)「Grain Market Report」によれば、2016/17年度の世界生産量は1.3百万トンと、前年度(1.7百万トン)に比べ22.9%減少すると見込まれている。これは、2015年秋の冬なたねの播種時期に寒冷・乾燥型の天候に見舞われ、播種面積が減少したため。現地調査会社によれば、2016年6月末現在、冬なたねは成熟期に入っており、南部の一部では収穫作業が始まった。作柄は総じて良好。

我が国の輸入先国シェア 2位 (2015年数量ベース12.4%)
世界の生産量シェア 5位 (2016/17年度 5.0%)
輸出量シェア 2位 (2016/17年度 19.7%)

表-3 豪州のなたね需給 (市場年度: 12月~翌年11月)

年度	2014/15	2015/16 (見込み)	2016/17		
			予測値、()はABARES	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	3.5	3.0	3.3 (3.2)	-	10.2
消費量	0.8	0.8	0.8 (…)	0.0	1.2
うち搾油用	0.8	0.8	0.8 (…)	0.0	-
輸出量	2.8	2.3	2.6 (2.3)	0.0	10.9
輸入量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	-
期末在庫量	0.5	0.3	0.2 (…)	0.1	▲ 24.5
期末在庫率	12.5%	10.5%	7.3% (…)	2.8	▲ 3.2
(参考)					
収穫面積(百万ha)*	2.90	2.36	2.60 (2.45)	-	10.2
単収(t/ha)	1.22	1.27	1.27 (1.32)	-	-

資料: USDA「PS&D」、「World Agricultural Production」(12 July 2016)

ABARES「Australian commodities」(21 June 2016)(※ABARESは作付面積)

世界の生産量シェア 6位 (2016/17年度 2.0%)
輸出量シェア 3位 (2016/17年度 7.7%)

表-4 ウクライナのなたね需給 (市場年度: 7月~翌年6月)

年度	2014/15	2015/16 (見込み)	2016/17		
			予測値、()はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	2.2	1.7	1.3 (1.4)	-	▲ 25.5
消費量	0.3	0.3	0.3 (…)	-	▲ 9.1
うち搾油用	0.3	0.3	0.3 (…)	-	▲ 9.1
輸出量	2.0	1.4	1.0 (…)	-	▲ 30.1
輸入量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	-
期末在庫量	0.0	0.0	0.0 (…)	▲ 0.0	33.3
期末在庫率	0.8%	0.2%	0.3% (…)	▲ 0.8	0.1
(参考)					
収穫面積(百万ha)	0.88	0.68	0.50 (0.60)	-	▲ 26.5
単収(t/ha)	2.50	2.58	2.60 (2.30)	-	0.8

資料: USDA「PS&D」、「World Agricultural Production」(12 July 2016)

OIL WORLD「OIL WORLD Monthly」(17 June 2016)

エ EU

【需給状況】（詳細は右表を参照）

<米国農務省の見通し>

生産量は、前年度より減少し、21.2百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度より減少し、23.9百万トンとなる見込み。

輸入量は、前年度より減少し、2.5百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より減少し、期末在庫率も4.9%に低下する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、2015/16年度の輸入量、期末在庫量で上方修正、生産量で下方修正、2016/17年度の輸入量で上方修正、生産量、消費量で下方修正された。結果として、期末在庫量がわずかに下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄等】

米国農務省(USDA)「World Agricultural Production」(2016.7.12)によれば、2016/17年度の実産量は、収穫面積が2012/13年度以来の低水準となることから、前年度(22.0百万トン)を3.8%下回り21.2百万トンとなる見込み。国別には、ポーランドでは冬の降霜及び春の乾燥型の天候により単収が悪化、再播種が行われなかった模様もある模様。フランスでは長雨による単収悪化のほか、収穫遅延、倒伏、病害、日照不足による悪影響が報告されている。英国では市況低迷が面積減少に繋がった模様。ただし、単収については、多雨に見舞われたフランスを除き、生育に適した降雨に恵まれ、史上2番目の高水準を維持する見込み。

オ 中国

【需給状況】（詳細は右表を参照）

<米国農務省の見通し>

生産量は、前年度より減少し、13.3百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度より減少し、17.4百万トンとなる見込み。

輸入量は、前年度より減少し、3.8百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より減少し、期末在庫率も4.3%に低下する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、2015/16年度の輸入量、期末在庫量がわずかに上方修正された。結果として、2016/17年度の期末在庫量がわずかに上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

中国のなたね生産は、長江中・下流域を中心に、例年10～11月に播種作業が行われ翌年5～6月に収穫される。2016/17年度の播種作業は、2015年9月中旬に開始され10月下旬に終了した。長江中・下流域では4～5月に過度な降雨が続き、登熟期のなたねに悪影響を与えた。局地的には暴風雨となり収穫作業に遅れが生じたが、6月上旬までに作業はほぼ終了した。

世界の生産量シェア 1位 (2016/17年度 31.9%)
輸入量シェア 2位 (2016/17年度 19.6%)

表-5 EUのなたね需給 (市場年度: 7月～翌年6月)

(単位:百万トン)

年度	2014/15	2015/16 (見込み)	2016/17		
			予測値、0はEU	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	24.6	22.0	21.2 (20.8)	▲ 0.6	▲ 3.8
消費量	26.3	25.2	23.9 (23.6)	▲ 0.1	▲ 5.2
うち搾油用	25.4	24.3	23.0 (22.9)	▲ 0.1	▲ 5.3
輸出品	0.6	0.4	0.3 (0.4)	-	▲ 14.3
輸入量	2.3	3.3	2.5 (3.1)	0.2	▲ 24.2
期末在庫量	1.9	1.7	1.2 (1.0)	▲ 0.0	▲ 29.7
期末在庫率	7.0%	6.6%	4.9% (4.3%)	0.0	▲ 1.7

(参考)

収穫面積(百万ha)	6.75	6.50	6.33 (6.44)	▲ 0.07	▲ 2.6
単収(t/ha)	3.64	3.39	3.35 (3.20)	▲ 0.06	▲ 1.2

資料: USDA「PS&D」、 「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」 (12 July 2016)
EU 「Balance sheets for cereals, oilseeds and rice」 (30 June 2016)

世界の生産量シェア 3位 (2016/17年度 20.0%)
輸入量シェア 1位 (2016/17年度 29.8%)

表-6 中国のなたね需給 (市場年度: 10月～翌年9月)

(単位:百万トン)

年度	2014/15	2015/16 (見込み)	2016/17		
			予測値、0はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	14.8	14.3	13.3 (8.5)	-	▲ 7.0
消費量	18.9	19.0	17.4 (…)	-	▲ 8.4
うち搾油用	18.3	18.4	16.8 (…)	-	▲ 8.7
輸出品	…	…	… (…)	…	…
輸入量	4.6	4.3	3.8 (…)	-	▲ 10.6
期末在庫量	1.5	1.0	0.7 (…)	0.0	▲ 28.6
期末在庫率	7.9%	5.5%	4.3% (…)	0.3	▲ 1.2

(参考)

収穫面積(百万ha)	7.59	7.30	7.00 (5.00)	-	▲ 4.1
単収(t/ha)	1.95	1.96	1.90 (1.70)	-	▲ 3.1

資料: USDA「PS&D」、 「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」 (12 July 2016)
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly」 (17 June 2016)